

脚本 水野昂子 演出 佐竹育子

演出助手 水野朋子

# 楠と桜（くすのきとさくら）

～穏やかな暮らしを求めて～

大和にある古木、楠と桜の精霊に導かれ、  
千年前の出来事に遭遇した親子は・・・。

●挿入歌  
♪「めぐる季節の木の下で」 作詞：水野昂子・水野朋子 作曲：音澄屋（鼠屋将志）

①花びら舞い 追う子どもたち  
小川には 花筏 息吹き 喜びの声  
それは遠い過去からの贈り物  
めぐる季節の木の下で  
美しい命を咲かせよう

②止まり木みつけ 休める翼  
照らしている 月明かり 聞こえる祈りの歌  
それは遠い未来への贈り物  
めぐる季節の木の下で  
美しい命を咲かせよう  
いつまでも

●スタッフ

脚本/水野昂子  
演出/佐竹育子  
演出助手/水野朋子  
挿入歌/作詞：水野昂子・水野朋子  
作曲：音澄屋（鼠屋将志）  
歌唱指導/富田康子  
照明/有限会社アイコニクス石川高彦  
音響/飯田加菜（織音座）  
衣装/奥川洋子・曾田洋子  
舞台監督/森邦夫  
切り絵/小西民子

●協力

(株)タウンニュース社  
大和市ボランティア連絡協議会  
大和市民活動センター  
大和映像サロン  
福慶会 福田の里  
大和しらかし会 松風園  
大和稻門会  
冒険研究所書店  
市民劇団演劇やまと塾  
<http://engekiyamato.com/>  
[engekiyamato@mail.goo.ne.jp](mailto:engekiyamato@mail.goo.ne.jp)  
<https://blog.goo.ne.jp/engekiyamato>

■劇団発足 平成18年10月

■公演 ※令和元年度以降を記載

【令和元年度】

令和元年 9月 第28回 大和百年物語Ⅲ「あの夏の日  
～元台湾少年工の里帰り～」(市保健福祉センターホール)

令和2年 3月 第29回「笛吹峠」(やまと芝居小屋 2020in 高座渋谷)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【令和2年度】

令和2年 9月 第30回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
令和3年 3月 やまと芝居小屋 2021in 高座渋谷  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【令和3年度】

令和3年 9月 第31回 「演劇やまと塾Web配信朗読劇～宮沢賢治の童話から～」  
令和4年 3月 やまと芝居小屋 2022in 高座渋谷 出演不参加、当日お手伝い

【令和4年度】

令和4年 8月 第32回 「シンデレラストーリー」(市渋谷学習センター多目的ホール)  
令和5年 3月 第33回 「笛吹峠」及び「アパートの住民」(やまと芝居小屋 2023 in 高座渋谷)

【令和5年度】

令和5年 11月 第34回 「楠と桜」～穏やかな暮らしを求めて～  
(市渋谷学習センター多目的ホール)

2023年11月19日(日)

昼 12:30開演(12:00開場)

夕 16:30開演(16:00開場)

料金(全席自由)大人前売り1000円・当日1200円  
高校生以下500円 保護者同伴の場合は大人1名につき  
小学生2名まで無料券発行

大和市渋谷学習センター 多目的ホール

主催 市民劇団 演劇やまと塾

後援 大和市/大和市教育委員会/(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団

問い合わせ(やまと塾事務所) [engekiyamato@mail.goo.ne.jp](mailto:engekiyamato@mail.goo.ne.jp)

WEB <http://engekiyamato.com/>

公式ブログ<https://blog.goo.ne.jp/engekiyamato>



## ごあいさつ

市民劇団演劇やまと塾代表 戸ヶ崎 正次

本日はご来場頂きまして誠にありがとうございます。

第34回公演は大和市の歴史からヒントを得た演目をお届けいたします。塾生が台本から作り、皆で試行錯誤を繰り返し、迷走することも多々ありましたが何とか本日を迎えることが出来ました。

今回まほろば基金を頂きまして、大和市内の渋谷学習センター近隣の施設の方々を多数ご招待させて頂きました。楽しんで頂けると嬉しいです。

いつも当劇団を温かく応援して下さるお客様に感謝いたします。

## 公演によせて

大和市長 古谷田 力

演劇やまと塾 第34回公演「楠と桜」の開催を心からお慶び申し上げます。

貴劇団におかれましては、長きに渡り地域に根ざした演劇活動の普及に尽力され、本市の文化芸術の振興に多大なるお力添えをいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

今回の公演は、大和の原風景を参考に作成されたオリジナルの脚本で、演出、制作、出演まで、すべて皆様が手掛けられたとお聞きしております。これまでの準備には多大なご苦労があったことと思いますが、その成果が実り、ご来場の皆様を魅了する素敵な舞台となりますことを切に願っております。

結びに、貴劇団のますますのご発展と皆様のご多幸を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

## 脚本にあたって

脚本 水野 昂子

9月初旬、演劇やまと塾第34回公演「楠と桜」の制作発表会（発会式）を行った後、週3回の稽古を重ね、本日公演の日を迎えました。感無量です。中世前期に高座渋谷一帯を支配し、歴史に残る名将といわれた武将渋谷重国とその家族について創作し、現代では、仕事を失い落ち込んでいる千佳子と元気のよい母親が不思議な体験をする物語といたしました。千佳子と幸子とその家族や地域のみなさんを交えての家庭劇、ホームドラマとしてご覧いただければ幸いです。

田中囃子保存会の方々、バレエアートシアターin湘南のお子様方のお力も得て、全員で作り上げた舞台をどうぞお楽しみください。

## 演出にあたって

演出 佐竹 育子

今回の演目「楠と桜」～穏やかな暮らしを求めて～は、やまと塾初めての演出班を設けました。これは、やまと塾ならではの試みだと思います。一人より二人・・・。三人寄れば文殊の知恵とはよく言ったもので、意見を出し合って演出班で検討しました。なかなか、まとまらない場面もありましたが・・・。なんとか完成させる事ができました。そして、次もまた初めての試み、プロジェクションマッピングの活用です。演劇の中に映像を取り入れ融合させる。それなりに、塾生たち皆良い力を持っており、「楠と桜」はこのような段階を踏み、また、二組の協力団体のお力添えもあって出来上がりました。

## ●キャスト



渋谷重国 饗庭繁和  
一千年前の豪族の頭領?  
今まで庶民としてしか  
生きてこなかった私に  
こんな役が・・・。  
役者冥利というより  
恐怖が先に立つ。  
さて、どうなること  
やら・・・。



渋谷光重 辻 秋広  
初めての武将役で  
苦戦しましたが、  
お客様の記憶に残る  
光重を演じたいと  
思います。どうぞ  
お楽しみ下さい。



楠の精 水野昂子  
この世と千年前の世界を  
つなぐ異次元の精靈です。  
可愛い妖精に導かれ登場し、  
不思議な声で話します。

郷土研究家 佐伯/富樫  
戸ヶ崎正次  
今回二役で全く個性  
の違う役です。どちらの役にもなりきら  
ず、あれーいつもT  
さんじゃないと言わ  
れないようにしたい  
です。



信濃繭太郎/台風の中を歩く人  
長澤純子  
重国、光重の平和への願いが、  
世界中に広がっていきますよ  
うに!繭太郎としてお役に立  
てたらと思います。

講座受講者/伊三郎/町の人  
滝沢俊也

地域の歴史を基にした物語  
をお楽しみください。

講座受講者/大庭史郎/町の人  
依田ルツキ

足を運んでくださりありがと  
うございます。楽しんでいた  
だけますと幸いです。

### ～出演協力にあたって～

バレエアートシアターin湘南 主宰 藤田優子  
演劇やまと塾第34回公演開催誠におめでとうございます。  
敬愛するやまと塾の皆様と我々バレエアートの子ども達の  
共演も、今回で三度目となりました。演劇とバレエ、そして  
世代の垣根を越えて、共に表現を深める素晴らしい機会を  
与えていただき、心より感謝申し上げます。  
客席の皆様へ、心を込めて、踊らせていただきます。

渋谷 幸子/渋谷 幸  
上原慶子  
あっけらかんとした母親  
幸子としっかり者の嫁幸  
を演じます。着物の所作  
がうまくできるといいな。



渋谷千佳子/渋谷千佳子  
水野朋子  
未来の自分に届く舞台に  
なるよう、皆様に感謝を  
こめて演じます。



桜の精 佐竹育子  
ファンタジーな世界、  
桜の精を演じます。  
木々の世界。本当に  
樹木とお話ししかた  
らしいなあ～と、本気  
に思う事があります。



大庭竹五郎/町の人  
宮沢隆司  
昔の時代に入り込んだ気持  
ちを大いに楽しんでみたい。

信濃繭助/台風の中を歩く人  
奥川洋子  
本公演では初舞台です。  
情緒的な兄・繭太郎の  
ことが心配でしかたが  
ない弟・繭助を、精一杯  
演じます。



講座受講者/大庭松市/町の人  
宇田善亮  
いつか、歌謡芝居を  
やりたいと思っています。

大庭梅助 宇山栄人 (出演協力)  
代官の田中八幡宮で、お囃子を  
教えています。祭り囃子の楽しさを  
多くの人に知ってもらいたくて、  
演劇に初挑戦します。



楠と桜の妖精  
前列左から新藤文乃さん、中澤真詩さん、  
鈴木莉愛さん、荒金初瑠さん、後列は、ご指導  
された藤田優子さん。